

第1回石狩市総合計画策定審議会 議事録

【日 時】 令和8年1月19日（月）15：15～16：30

【場 所】 石狩市役所 4階 401、402 会議室

【出席者】 23名（24名中）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	森 傑	○	委員	桑山 渉	○	委員	星野 ゆかり	○
副会長	酒井 妙美	○	委員	平野 花	○	委員	早川 久夫	○
委員	木村 邦博	○	委員	上田 均	○	委員	草野 竹史	○
委員	小笠原 英史	○	委員	清水 雅季	○	委員	佐藤 眞彰	○
委員	藤田 宏司	○	委員	菊地 功	○	委員	飯塚 諒	○
委員	村本 龍一	○	委員	東 幸子	○	委員	波多野 夢子	○
委員	小山 玲子	○	委員	渡邊 隆之	○	委員	八田 美夕	○
委員	野村 彩夏	○	委員	石田 琢磨	×	委員	徳地 克実	○

※正副会長を除き、あいうえお順

【事務局】 企画政策部長 小島 郁也、企画課長 大川 実、企画課主査 田口 聖悟
企画課主査 上原 範照、企画課主任 平井 亮自、企画課主任 山崎 将平

【傍聴者】 1名

1. 開会・挨拶

（事務局）

本日は初めての審議会となりますので、会長が決まるまでの間、私の方で司会進行をさせていただきますと思います。本審議会は傍聴可能な公開形式となっております。審議会の記録のため、写真や動画での撮影につきましてもご了承ください。

それでは、開会に先立ちまして、市長より一言ご挨拶を申し上げます。

（加藤市長）

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました石狩市長の加藤です。まず皆様方におかれましては、本審議会の委員へのご就任をご承諾いただいたこと、厚く御礼を申し上げます。

これから議論をいたします第6期石狩市総合計画についてですが、現行の計画は平成27年度に私自身が企画経済部長の際に策定したものであり、非常に自分自身も思い入れの強いものであります。そこからおよそ10年が経過しました。この間、私どものまちにも様々な変化や発展があったと考えております。

例えば、平成30年には厚田に「道の駅石狩 あいろーど厚田」が開業し、毎年40万人のお客様が来場をしております。ある意味、新たな人の流れというものが出来上がったと思っております。令和2年にはゼロカーボンシティ宣言を行い、令和4年には環境省の脱炭素先行地域にも選定をされ、全国のモデルとして注目をされております。

また、石狩湾新港に目を向ければ、一昨年、洋上風力発電所の商業運転が始まりましたし、また、地域で作られた再生可能エネルギー100パーセントで稼働するデータセンターが開業するなど、再生可能エネルギーの地産地消によるデータセンターの誘致が進んで、私どもが10年前に描いた構想が、民間の力によって着実に現実のものとなっていると感じております。本市が目指す再生可能エネルギーの基地というものが大きく前進をしているところであります。

昨年4月には、石狩市こどもの権利条例を施行いたしました。この条例は、「こどもまんなかまちづくり」の理念のもと、こども施策を将来にわたって進めていく上での共通基盤だというふうに考えております。こどもの権利を尊重して、将来にわたってその権利が保障される社会を目指して、こども家庭センターの設置、こども医療費の助成対象の年齢を引き上げ、子育て支援を大幅に拡充してまいりました。

また、本市の自治基本条例では、まちづくりの主役を市民の皆様として、市民と行政の強い信頼関係と絆のもと、強固たる協働のまちづくりを作り上げていくこととしております。委員の皆様方には、公募市民をはじめ幅広い世代の方々にご参加をいただいております。ぜひとも、それぞれのお立場、それぞれの市民目線でのご議論というものを期待しているところであります。

過去の取り組みが今のまちをつくり、今の取り組みが未来のまちを作っていくのだと思っております。我々は、未来を想像しながら行動していくことが必要であります。この10年間の取り組みが、今後の石狩のまちを作ります。そして、今回策定する総合計画は、さらなる未来への力を作っていくと考えております。

本日お集まりになられた委員の皆様には、審議会委員としてお知恵をお借りして、本市のまちづくりにご協力をいただいて、市の最上位計画であります総合計画のご審議にご尽力いただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

2. 委員・事務局紹介

(事務局)

まず初めに、委員のご紹介をさせていただきます。名簿の順にご紹介させていただきますので、お名前が呼ばれましたら、ご起立の上、ご自身の活動や仕事など簡単に一言自己紹介をいただけたらと思っております。

(森委員 (北海道大学大学院工学研究院 教授))

北大の森です。専門は建築計画、都市計画、まちづくり全般等になります。こういった委員会について市外各所でお手伝いさせていただいております。できるだけ有意義な情報をご提供できればなと思っております。

(木村委員 (札幌市農業協同組合))

札幌市農業協同組合木村です。昨年10月に合併しまして、JA さっぽろとなり、石狩市と札幌市のJAということで、全体の視点から総括をしております。

(小笠原委員 (北石狩農業協同組合))

北石狩農業協同組合の小笠原です。厚田区で米農家をしています。

(藤田委員 (石狩市森林組合))

石狩市森林組合の藤田です。民有林と国有林などの森林整備をしております。

(村本委員 (石狩湾漁業協同組合))

石狩湾漁業協同組合の村本です。今は厚田で働かせていただいております、漁師さんのお手伝いをさせていただいております。

(酒井委員 (石狩商工会議所))

石狩商工会議所女性会会長の酒井です。八幡にあります株式会社酒井組という会社で働いております。

(小山委員 (石狩北商工会))

石狩北商工会の女性部の小山です。厚田で小さな工務店をしております。

(野村委員 (石狩観光協会))

石狩観光協会の野村です。市内観光施設の管理運営等をしております。

(桑山委員 (石狩湾新港企業団地連絡協議会))

石狩湾新港企業団地連絡協議会の事務局長の桑山です。団地連絡協議会というのは、石狩湾新港に資する企業で構成される協同組合、それから自治会をメンバーとした連合町内会みたいなものでして、普段から企業さんとの色々お付き合いをさせていただいております。所属は石狩開発株式会社というところで、企業誘致を市と連携して進めてまいりました。

(平野委員 (石狩市社会福祉協議会))

社会福祉協議会の平野です。社会福祉協議会は様々な地域福祉に関することをしている団体として、地域の皆様だとか高齢者や障がい者の方と関わることが多いです。

(上田委員 (石狩市スポーツ協会))

スポーツ協会専務理事を務めております上田です。市内のスポーツ施設の管理、健康づくり事業をしています。まちづくりに運動のことも挙げておいてもらえればと思います。

(清水委員 (石狩市文化協会))

石狩市文化協会専務理事の清水です。私どもの協会は指定管理者として市の公民館を管理しております。市民の方々の普段の芸術文化振興について、教育委員会と連携して進めているところです。

(菊地委員 (石狩市連合町内会連絡協議会))

石狩市連合町内会会長の菊地です。町内会の活動を通して、市民目線でこの会議にお役に立てればと思っております。

(東委員 (厚田区地域協議会))

厚田地域協議会副会長の東です。厚田にて米と小麦の農家をしております。

(渡邊委員 (浜益区地域協議会))

浜益地域協議会の会長の渡邊です。浜益の地域づくりのため、地域の皆さんと話し合いをしております。

(星野委員 (子育て支援ワーカーズ ぽけっとママ))

子育て支援ワーカーズ ぽけっとママの代表の星野です。私たちの団体は、石狩市からファミリーサポートセンターの事業の運営委託を受けております。また、ひとり親家庭の保育も受けております。子育て中のご両親の声だとか、お子さんの様子だとかを間近に見ているので、そのような声が伝えられたらなと思っております。

(早川委員 (石狩市校長会))

石狩市校長会副会長の早川です。紅南小学校の校長をしております。5年前には花川南小学校の教頭もやらせていただいております。

(草野委員 (NPO 法人 ezorock))

NPO 法人 ezorock の代表の草野です。25年前に RISING SUN ROCK FESTIVAL から生

まれた団体でございまして、約10年前からこの浜益に第2拠点を構えて活動しております。新港の方の再エネやデータセンターの「技術の最先端」と、厚田・浜益の人口減少もある意味「課題の最先端」だと思っており、この2つの掛け算が石狩の価値創出になるのではと思っており、色々発言させていただけたらと思います。

(佐藤委員 (石狩市国際交流協会))

石狩市国際交流協会会長の佐藤です。国際交流協会は、石狩が姉妹提携をしているカナダのキャンベルリバー、ロシアのワニノ市、そして中国の彭州市(ほうしゅうし)、この3つの交流事業について担当いたしております。現在、新港地区を中心にして石狩市には1,000人以上の外国人労働者が居住しておりますので、そういう方たちの交流事業やサポートをしております。

(飯塚委員 (公募))

公募の飯塚です。元々、石狩市の地域おこし協力隊をさせていただいて、その頃に皆さんにお世話になった後、写真でフリーランスをしていました。今は株式会社WREERAの代表をしまして、学習塾の他にサードプレイスというものを作っていきたいなと思っております。「石狩ミライゆる会議」という、石狩の未来を自由に話せる会議を2ヶ月に1回企画しています。

(波多野委員 (公募))

公募の波多野です。石狩地区で両親と家族経営で農家をしております。生産したものを市場に出荷し、毎週土曜日に円山でマルシェもしております。普段から石狩を農業から盛り上げたいという気持ちで、InstagramをメインにSNSを活用して発信をしています。

(八田委員 (厚田枠公募))

公募の八田です。厚田に祖母と叔父が住んでおり、3年前に移住しました。水産加工の運営をしており、会社では地方創生の事業を担当していて、まちづくりの勉強をさせていただきながら働かせていただいています。子育て中で、小さい子どもと2人で暮らしており、そのような世帯も増えてくることもあると思うので、そういった視点でもお力になれたらなと思っております。

(徳地委員 (浜益枠公募))

公募の徳地です。本業としては漁師をしつつ、浜益特定地域づくり事業協同組合という浜益限定の人材派遣組合の事務局もしております。その他、酒販免許も取りまして、酒の販売も始めております。浜益の地域のまちづくりのことで色々と活動しております。

3. 会長・副会長の選出

(事務局)

石狩市総合計画策定審議会条例の第4条により、会長及び副会長各1名を置き、委員の互選により選出することとなっております。

(木村委員より事務局一任の提案あり、異議なし)

事務局といたしましては、会長には学識経験者であり、まちづくりなどを専門としております森委員、合わせまして副会長につきましては、石狩商工会議所の女性会会長としてご活躍をされていらっしゃる酒井委員にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

それでは、森会長、酒井副会長に決定させていただきます。

(森会長)

北海道大学の森です。

私自身、総合計画の策定に関しては、主として司会役としてお手伝いすることが多々あります。北海道179市町村ありまして、まだ179の制覇はほど遠いですが、東西南北いろいろなところのまちを見えています。

石狩市について、深刻度はまだマシと言いますか、まだ余力があり、先ほど市長からの話もありましたように、仕掛けた事業が実って活性化に繋がっている、そういった形で余力がある市になると思います。余力がある自治体さんが先に先に、将来のことを見据えてちゃんと計画を立てて、実効性を持たせて進めていくのかについて丁寧に準備していくことがすごく大事なことだと思っております。

先ほど市長と面談させていただいた際に、私が着任した頃の北海道の人口って550万人ぐらいでありましたが、現在500万人を切っている。25年で50万人減っているというのを改めて思っています。札幌市とか石狩市はそんなに減ってないですけども、そうではないところで50万人減らしている。総合計画というのは最上位で、目指している視野というのはちょっと先のところを考えないといけないですけども、やはりこう実感として25年で50万人減っているっていうところは、皆様方と一緒にちゃんと受け止めて議論していかないといけないなと思っているところです。進行役として進めさせていただきたいと思えます。

4. 諮問

(加藤市長)

第6期石狩市総合計画の策定について、石狩市総合計画策定審議会条例第1条の規定に基づき、貴審議会の意見を伺います。

(加藤市長より森会長へ諮問書の手交 および 加藤市長 退席)

5. 議事

(事務局)

議事に入る前に、当審議会の運営についてご確認をさせていただきます。会議録は要点筆記とさせていただきます、会長にご確認いただいた上で確定し、公開します。傍聴者が感想や意見を文書で提出することも可能とし、所定の用紙を配布します。

(異議なし承認)

これより以降の進行につきましては森会長にお任せいたします。

(森会長)

それでは議事進行を進めさせていただきます。

本日は「第5期石狩市総合計画について」及び「第6期石狩市総合計画の策定にあたって」ということで、現状と今後の進め方の説明になります。

- (1) 第5期石狩市総合計画について
- (2) 第6期石狩市総合計画の策定について

(事務局)

【資料に基づき説明】

(1) 第5期石狩市総合計画について

・平成25年4月より計画づくりを開始し、約2年半の期間をかけて、平成27年第3回石狩市議会での基本構想の議決を経て、策定した。

・計画策定にあたっては、「石狩市総合計画策定審議会」を9回、石狩青年会議所主催による市民参加型の討議会「まちづくりディスカッション」を2回、「いしかり地域討議会」、市民カレッジ運営委員会による「まちづくりディスカッション」、高校生による「まちづくりディスカッション」、「平成25年度市民意識に関するアンケート調査」、「若手市職員による職員ワークショップ」、「中学生による『まちづくり意識調査』」、「平成26年度市民意識調査に関するアンケート調査」を実施している。

・30年先を見据えた「創造・絆・環境」をキーワードとし、それらを「3つの都市像」、さらにはそこで醸成されていく意識や気持ちなどの市民像を、「石狩PRIDE」として掲載している。

・計画自体が進化していく仕組みとして、市民に計画に関わってもらうようにしており、自治基本条例第16条第3項における市民意識の調査を毎年実施している。

(2) 第6期石狩市総合計画の策定について

・策定方針としては、当計画にある「創造」「絆」「環境」といった目指すまちの姿（将来像）に大きな齟齬はないことから、全面改定ではなく、前回の計画からの10年間で生じた「想定していなかった変化」や「新たな要素」を確認し、盛り込んでいく。

- ・意見聴取の方法として、「市役所若手・中堅職員ワークショップ」、お子さんや保護者を対象にしたイベント「第2回いしかり地産地活博」の来場者、石狩市の成人式である「はたちのつどい」の来場者、全市民を対象にした Web アンケート、「石狩ミライゆる会議」での参加者、市内の小中学生へのアンケート などを実施する（詳細は資料参照）。
- ・全体スケジュールとしては、全5回の審議会を開催する予定で、次回（3月）に骨子案報告、6月に素案報告、8月に答申、11月に完成版報告の見込みで、12月に議会上程を行う。

（森会長）

ご説明ありがとうございます。今後の進め方等につきまして、ご質問がありましたらお願いいたします。

（草野委員）

進め方はこのままで特に異議があるわけではないですが、1月28日の若手職員のワークショップの3回目に、例えば見学させていただくようなことは可能なのかなどなのか。当日の雰囲気的大事ということもあると思いますが、もし雰囲気を聞いたら良いなと思いました。

（事務局）

15人から20人程度の若手職員を対象に開催しておりまして、最後3回目の取りまとめを行う予定です。事前に言っていただければ場所と資料をご用意させていただきますので、ぜひ見ていただきたいなと思います。

（森会長）

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。では私の方から3点あります。

今年度すでに若手職員ワークショップやいしかりミライゆる会議など、多くの意見聴取に取り組んでおられることは非常に素晴らしいです。次回、骨子案を説明していただく際に、これまでの意見聴取の機会の内容について、スライド1枚ぐらいでそれぞれ結構ですので、ぜひともこの審議会のメンバーに共有いただけるといいかなと思います。

今回は全面見直しというよりは時代に応じて改定をしていくという位置付けですが、「想定していなかった変化、新たな要素」はしっかりと抑えるべきです。直近の5年、10年で実感することは「格差」です。経済格差や生活の質の格差が大きくなっている。統計データの平均値では見えない部分ですので、審議会の皆様の日常のリアルな感触を汲み取ることが大事と思っています。

前回（第5期）の策定に関わった方は少数派だと思います。第5期の総合計画や配布資料をぜひとも振り返っていただいて、私も含めて皆様予習をして臨みましょうということをお願いしたいと思います。

(桑山委員)

市民意見等の聴取について、対象者が「全市民」という項目がありますが、実は石狩湾新港地域には約 700 社強の企業が立地しておりまして、ここで働いている方の 7 割が札幌市から来ており、圧倒的に石狩市以外からの通勤者が多い。

そういう中で、石狩市に住んでいないが、企業経営者あるいは企業で働いている方の意見もぜひ聴取していただくような機会を持っていただいて、それを計画に反映することは非常に重要だと思います。第 5 期から第 6 期にかけて相当変わってきているところではあると思うので、ぜひ考慮していただきたいなと思います。

(森会長)

大変重要なご指摘ですね。市外に住んでいて石狩市に通勤されている方の話を聞くことは重要です。事務局の方でどのように情報収集するかご検討いただいて、また共有いただければと思います。

6. 閉会

(事務局)

次回、第 2 回審議会は 3 月 26 日の開催を予定しております。現在頂いている市民からの意見を基に骨子案を作成し、ご報告させていただきます。事前に資料をお配りさせていただきたいと思っておりますし、皆様の中で「次回こういった資料が欲しい」というのがあれば、事前に事務局にご連絡いただければご提供させていただきます。

以上を持ちまして、第 1 回石狩市総合計画策定審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上

令和 8 年 2 月 20 日 議事録確定

石狩市総合計画策定審議会 会長 森 傑